

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 10

1. 個人情報の自衛隊への提供について
2. 水道広域化を進めるべきではない
3. 物価高騰に対する支援を

加藤木 直 議員 …………… 11

1. 上下水道事業全般について
2. 大谷翔平選手から小学校への野球グローブ寄贈について

飯 村 栄 議員 …………… 12

1. 土地開発条例の改正について
2. 私道の寄附受け入れについて
3. 自治会管理の公園の今後の管理方針について
4. ソーラー発電、風力電力等の許可について

【お詫びと訂正】

議会だより76号に掲載の一般質問において、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P12 高橋裕子議員「子育て支援として」

記事中央の「幼稚園・認定こども園の保育料（授業料）基本月額」の表

誤	町民税所得割 (推定年収)	国		城里町	
		第1子	第1子	第2子	第3子以降
1階層	生活保護	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2階層	町民税非課税 (～260万円) (ひとり親世帯)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2階層		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
正	町民税所得割 (推定年収)	国	城里町		
		第1子	第1子	第2子	第3子以降
1階層	生活保護	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2階層	町民税非課税 (～260万円) (ひとり親世帯)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2階層		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

☑次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

個人情報自衛隊への提供について



藤咲 芙美子 議員



こちらから動画が視聴できます

《町民課長》法定受託事務として行っている

藤咲 町は自衛隊に住民基本台帳から18歳、22歳の若者の名簿を提供している。個人情報保護、人権尊重の観点から大変由々しき問題だ。

自衛隊法施行令の規定では、防衛大臣が市町村に求めることができるだけ、「市町村長は名簿を提出しなければならない」とは書いていない。自衛隊の要請に応じる義務はないはずだ。

町民課長 ※法定受託事務として行っている。自衛官の募集に必要な資料として、住民基本台帳の写しを用いることに、特段の問題は生じない。

藤咲 国会で防衛相は「それぞれの自治体で判断する」と答弁していることから、判断は各自自治体が行うので※法定受託事務ではない。本人が知らないう

ちに自分の名簿が自衛隊に渡されるのは、重大なプライバシーの侵害であり、直ちにやめるべきだ。

町民課長 以前は名簿の閲覧だったが、令和元年から紙媒体で提出している。

水道広域化を進めるべきではない

《町長》工事費は審議会で

藤咲 9月定例会の水道広域化に関わる質問に町長は「水戸市經由で城里町に県の豊富な能力でつくられた水を供給するので、町は巨額の設備投資を免れる」と答弁した。このことについて、①城里

町のおいしい水は残すべき。②水戸市は広域化不参加を表明したが、どのようになるのか。③巨額の設備投資を免れるというが、工

※法定受託事務

地方自治体が行う事務のうち、国（又は都道府県）が本来果たすべき役割に係るものであって、国（又は都道府県）において適正な処理を特に確保する必要があるものとして、法律または政令で定めるもの。

国政選挙、旅券の交付、戸籍事務、生活保護、国道の管理など。

事費や水道料金について試算はあるのか。

町長 ①県の浄水場は石塚浄水場ではできない最新の設備が導入されている。②水戸市が不参加でも導水ルートについての影響はない。

③工事費については審議会の結果をお待ちいただきたい。水道料金については、現時点でいうことはできない。



小松浄水場



物価高騰に対する支援を

《福祉こども課長》7万円の給付を行う

藤咲 物価高騰に対する支援として、困窮する高齢者世帯や低所得世帯に対する負担軽減が必要だ。電気料、灯油購入などの負担軽減を求める。

福祉こども課長 閣議決定で7万円の給付が予定されている。

藤咲 収入が低い世帯ほど物価高騰の波を被っている。生活全般に判断していただきたい。

上下水道事業全般について



かとう まさただし 議員
加藤木 直



こちらから
動画が視聴できます

《水道課長》 実質1億円超の損失 《下水道課長》 実質5億円超の損失

加藤木 上下水道の加入者が少なくなると、経営が厳しくなる。接続後すぐ休止する案件はあるのか。

水道課長 分譲開発後、販売に至らず休止したり、合併時の未普及事業で水道整備をしたが、井戸水を使用するため休止する事例がある。

加藤木 中止率が特に低い地区はあるのか。

水道課長 空き家が進んでいるところや井戸水を使っているなど様々である。

加藤木 現在までの対応と、今後の対策を伺う。

水道課長 中止件数の増加は課題である。空き家への対策は、担当課と連携し行い、井戸水使用については、水質検査で飲料不適の結果をもとに水道利用を促進している事例もあるため、参考にした。

加藤木 上下水道、近年の収支状況を伺う。

水道課長 例年実質1億円超の損失だ。

下水道課長 令和4年度決算で実質5億円超の損失だ。

加藤木 上下水道共に赤字だが、町民に事業への理解をいただき、かつ企業誘致の取り組みを求める。

水道事業が始まり、何処が古く、何年になるのか。

水道課長 更新計画を立てており、北米、石塚、小坂、春園が古く54年経っている。

加藤木 年間どの程度更新を行っているのか。

水道課長 年間1%弱の更新である。

加藤木 それでは100年以上かかる。災害等も考慮し前倒しできるよう検討を求めたい。

加藤木 上下水道料金の滞納状況を伺う。

水道課長 直近で110件、約1,400万円となっている。

下水道課長 170件、1,180万円となっている。

加藤木 滞納者が移転し、家族の別名義で再度契約すればその滞納が免れる。実際可能なか。

町長 内容について承知していない。水道事業経営に及ぼすほど多くの件数があるわけではないと認識している。

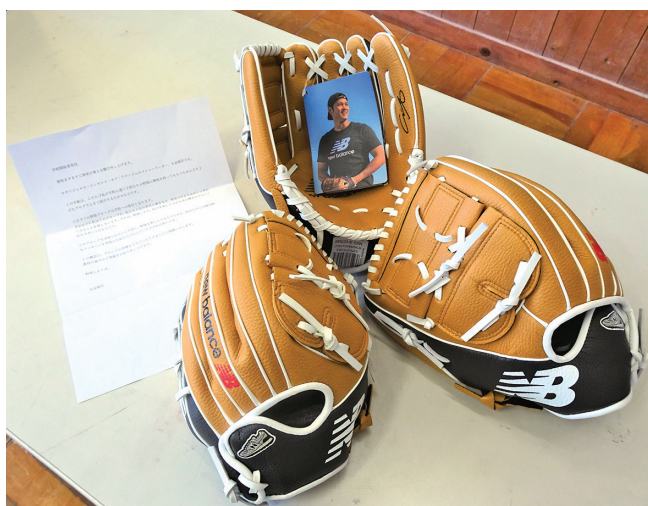
加藤木 対応策として、規則の見直しを求めたい。

水道課長 笠間市、常陸大宮市は、有収率対策のため行政対応となっている。

今後検討したい。

大谷翔平選手から小学校への野球グローブ寄贈について

《教育長》 盗難等ないよう管理



大谷選手から寄贈されたグローブ

土地開発条例の改正について



飯村 栄 議員



こちらから動画が視聴できます

《町長》 土地開発条例の適用を避けている

飯村 人口減少をいかにして食い止めていくかということが、自治体にとって重要な課題となっている。人口を維持していくには、若い子育て世帯を転入により受け入れていかなければならない。そして、若い子育て世帯に良質な住宅地を提供していかなければならない。

私が居住する石塚地区や隣の那珂西地区を歩いていると、あちこちで宅地開発の現場を見かける。しかし、気がかりなことがある。宅地開発の現場を見ると、すぐに家が建ちそうな場所が販売されずに、空き地として位置づけられている。これは城里町の開発条例により、2,000㎡以上の開発が規制されているのが原因と思われるが、実際どうなのか。



宅地開発が行われている地域で、空き地になっている



永年使用されている私道

町長 開発面積が2,000㎡を超えていることから、土地開発条例の適用を避ける為、一定期間空き地にしていくのではないかと推測される。

飯村 現地を確認する限りにおいて、周辺に迷惑をかけるような開発には思えない。条例改正が可決され、町内において宅地開発が活性化し、子育て世帯の転入が増加することを期待する。

私道の寄附受け入れについて

《町長》基準の緩和を行っている

飯村 1990年頃、常北町の人口増加率が茨城県で1位だったことがある。それから約30年が経過し、これらの住宅地では世代交代も始まるようになっている。問題はこれらの住宅地の道路の多くが私道になっていることである。現地に住んでいない子供世帯の共有名義が増えてくると、公共工事のため同意を取ることや、所有権の手続が困難になり、30年前の開発地区が空き家だらけになりかねない。10年、20年と町に居住し、税金を支払い続けた地域については、私道の受け入れ基準を緩和してもよいと思う。今回の要綱制定で、その様な受け入れ基準の緩和は行われているのか。

町長 20年以上使用された私道については、基準の緩和を行っている。

飯村 条例や要綱を制定することはゴールではなく、スタートである。町長には、今回の要綱を積極的に活用して、次の世代に誇れる町並みを残してほしい。

その他、次の質問がありました

- ・自治会管理の公園の今後の管理方針について
- ・ソーラー発電、風力発電等の許可について